

6月定例議会

行政報告

(2)

産業部関係

農林課

水稲栽培は、4月上旬からの低温等により、春作業の遅れが心配されましたが、5月の連休半ばからの天候回復によって進み、5月22日、23日が北秋田地域の田植えの最盛期となりました。田植え後も安定した天候が続いて順調に生育しています。

畑作は、山の芋・スイートコーンとも4月の低温の影響で2〜3日の遅れとなっていますが、葉たばこの定植作業は平年並みで終了しています。

新規就農者の確保・育成事業は、今年も1人が秋田県農業試験場にフロンティア農業者育成事業を活用し、研修をしており、将来の市農業の担い手になるよう育成しています。

口蹄疫病は、空気感染等での感染も予想されますので、5月末に市内畜産農家に注意を促す看板やチラシを作成し、両JAを通じて配布しています。今年の牧場運営は、31頭が鷹巣牧場に、30数頭が高津森牧場に入牧を終了しました。両牧場とも草地の管理や周辺整備を進め、農家の利用促進を促しながら、安全で安心できる肉用牛生産

に貢献できるよう努めます。

農地・水・環境保全向上対策事業の官農活動支援交付金事業は、3活動組織で事業費は147万6000円です。共同活動支援交付金事業は、66活動組織で事業費は1億2673万4000円を予定し、6月〜7月頃の現地確認作業を経て、各組織に支払われる予定です。

中山間地域直接支払制度事業は、今年度から新たに第3期対策事業が実施されています。

土地改良事業関係は、県営農村整備事業での調査事業が5地区で決定となり、基礎調査等が始まっています。

5月12日、市内の行政、農林、商工関係団体等で組織する、第133回秋田県種苗交換会北秋田市協賛会の設立総会が開かれ、事業計画、収支予算が承認され、本格的に始動しました。

商工観光課

緊急雇用創出臨時対策基金事業関係は、県の基金事業を活用し、13事業・61人の新規雇用が見込まれます。市単独雇用事業分として保育士補助、清掃員臨時職員の7人を雇用しています。ふるさと雇用再生臨時対策基金事業は、株式会社「あきた雑穀村」と契約締結を行いました。

消防本部関係

常備消防

平成22年1月から4月末までの火災の発生は、建物火災が5件、林野火災1件、その他火災が1件で、火災による死者は1人です。

救急出場は504件で、内訳として急病が349件、一般負傷54件などです。救助の出場は、23件です。

住宅用火災警報器の設置推進事業は、平成22年4月末で、131自治会等から交付申請があり補助金を交付しています。

非常備消防

春の火災予防運動初日に各地区ごとに全ポンプによる一斉放水訓練及び機械器具の点検を実施し、期間中は火災予防巡回と住宅用火災警報器の設置推進チラシの配布をしています。



米代川流域9市町村の水防団が出水期に備え水防演習

教育委員会関係

総務課

5月29日、米代川流域9市町村の水防団が集結し、能代市で水防演習が開催され、当市水防団から50人の団員が参加しました。

今年度建築予定の阿仁中学校体育館は、4月に建築確認申請書の提出を終え、許可が下り次第、入札を行います。準備を進めています。

鷹巣中央・鷹巣南・阿仁合小学校と森吉・阿仁中学校の耐震補強工事及び米内沢小学校の玄関・図書棟解体工事、森吉中学校の給水管交換工事は、夏休み期間を利用して工事を行いました。事務を進めています。

合川学童センターでのあきたリフレッシュ学園事業は、受け入れ3年目を迎え、県と連携して、さらに事業の継続に取り組みます。

山村留学事業の、まどび学園は、2カ年休園という憂慮される状況となりました。今後の方途については、「合川山村留学協議会」など地域関係者とともに、廃止も視野に入れて検討を深めていきます。

たかのす幼稚園の平成22年度の入園児童数は9人で、園児数は15人です。学校教育課

今年度の入学児童生徒は、小学校218人、中学校287人です。これによ

中心市街地活性化対策は、新規1店舗を含め6店舗を事業認定して空き店舗対策に取り組んでいます。

全日空・大館能代 大阪線が来年1月に廃止されることになり、大館能代空港利用促進協議会などと連携して搭乗率アップに努め、運航再開を目指します。

観光振興は、北秋田市観光振興計画を策定しました。観光における北秋田市の将来を見据えた中期的な方向性を示したもので、平成22年度から27年度を対象年度としています。

生活対策臨時交付金事業を活用し、打当温泉・マタギの湯別館及び熊牧場園内の改修工事が完成しました。



生活対策臨時交付金事業で改修された「マタギの湯」別館

建設部関係

都市計画課

北秋田市日沿道・中代橋建設促進期

小学校の児童数は1540人、中学校の生徒数は890人で、学級数は小学校が105学級、中学校37学級です。小・中学校の運動会・体育大会は5月7日を皮切りに行われ、家族や地域の方々の声援を受け、元気いっぱい躍動する子どもたちの姿が見られました。

大館北秋田中学校春季総合体育大会は、野球で合川中が、バレーボール女子で鷹巣中が優勝を飾るなど、市内の中学校は各種競技で大活躍でした。

本年度で最後となる市立合川高校の新入生は普通科61人で、全校生徒数は165人です。この内、2年生の104人は、来春に新設される県立高校「秋田北鷹高校」へ転入学することになっています。寄宿舎入寮生は男女合わせて37人です。健全で快適な寮生活ができるよう努めます。

生涯学習課

放課後児童クラブ事業は、市内14カ所で471人の申込みがあり、放課後子ども教室と連携をとり実施しています。「子ども読書夢プラン事業」は本年度も県教育委員会から非常勤職員が派遣され、学校図書館整備支援とともに児童館放課後子ども教室での読書普及啓発など、子どもたちへの読書支援活動を展開しています。

高齢者大学では、高鷹大学286人、合川ことぶき大学59人、森吉大学117人、阿仁生き活き大学49人の受

成同盟会は、中代橋の完成・開通に伴い、名称を北秋田市日沿道・あきた北空港・二ツ井白神間建設促進期同盟会に改め、その整備促進に向け取り組むこととしました。

市営住宅の入居状況は、管理戸数604戸に対して、入居戸数561戸です。畑町団地整備事業は、6月下旬に実施設計業務を委託し、年内に本工事完成と移転者の入居替えを完了する予定です。

建設課

繰越事業の地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業は、計画6路線のうち測量業務委託1件を発注しています。地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業は、計画20路線のうち測量設計業務委託2件、側溝改良工事線1件を発注しています。

河川維持工事1件、道路災害復旧工事2件を発注しています。上下水道課

簡易水道事業は、繰越事業で行った森吉・合川地区統合簡易水道施設整備事業の長野沢地内への浄水場造成工事が完成しています。

公共下水道事業は、阿仁合処理区における阿仁小池地区、鷹巣処理区における脇神字平崎上岱及び平崎川戸沼の各一部を供用開始しています。農業集落排水事業は、道城地区を供用開始しています。

講生が入学・開講式を終え、多くの仲間とともにいきがづくりを目指しスタートしました。



いきがづくりを旨とし各地区の高齢者大学スタート

5月1日、世界遺産登録を目指す伊勢堂岱遺跡で今年の一一般公開が始まり、登録に向けた取り組みを積極的にPRしていきます。

スポーツ振興課

第48回河田杯マラソン・大館北秋田ロードレース大会が4月17日開催され、市内外から204人の小学生から一般までが参加し、家族らの応援を受け、健脚を競い合いました。

指定管理者制度を導入している施設の平成21年度利用者は、市民プールが4万1400人、市営業師山スキー場が1万1285人でした。22年度から27年度までの5年間、両施設の管理は引き続き、プールは(有)シバタに、スキー場は今泉自治会に決まりました。